

測定記録支援システム『BLuE』とその応用

— 現場を変革するDXプラットフォーム構想 —

戦略技術開発本部
技術開発ユニット
技術研究所

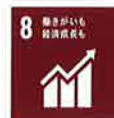
副 長

中島 栄一

技術士(電気電子部門)

キーワード

DX、IoT、測定、Bluetooth



■ 概 要

建設業における人手不足の深刻化、働き方改革による長時間労働の削減がクローズアップされる中、DX化によって作業や業務を効率化し、負担を軽減する取り組みを行うことの重要性がますます高まっている。弊社では、その取り組みの一環として、測定業務において大きな負担となる記録作業を大幅に削減し、品質を向上できるソフトウェア、測定記録支援システム「BLuE」を開発した。本発表では、「BLuE」の特長と活用状況、今後の展望について報告する。

【特 長】

- ① 対応測定器の豊富さ: 2024年度60機種対応予定
- ② 使いやすさ: 簡単な操作で測定値を図面に直接入力。測定器やファイルの切り替えも可能
- ③ 拡張性の高さ: 測定の種類を問わず、幅広い業界に適用可能。顧客アプリとの連携も可

【今後の展開】

測定記録支援システム「BLuE」は、ユーザーの“使い勝手”に焦点を当てた、簡単な操作で図面や帳票に測定値を直接入力することができるソフトウェアであり、測定記録業務の大幅な効率化、品質向上が期待できる。2022年6月より一般販売を開始しており、引き続き対応測定器ラインナップの拡充、一人作業対応などの機能向上を行っていく。将来的には、電気・空調衛生分野のみならず、幅広い業界における測定記録業務の“足回り”として、測定デバイスと各種アプリケーションをつなぐプラットフォーム化を目指す。

【JECA FAIR 2022(第70回電設工業展)製品コンクール:経済産業大臣賞受賞】



※ Bluetoothは、米国Bluetooth SIG, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

お問合せ先

戦略技術開発本部 技術開発ユニット 技術開発部 gijyutsu@kandenko.co.jp